



先日、就学時健診があり、たくさんの来年度入学予定の子どもたちが受けにやってきました。その日に学校保健委員会が開かれ、子どもたちの健康の保持増進を図るために、健康診断結果や保健活動状況の報告を主に子どもたちの健康についての話し合いがもたれました。今回の参加者は、学校内科医 外山先生、学校耳鼻科医 穂山先生、学校歯科医 池田先生、学校薬剤師 明石先生、本校校長、副校長、栄養士、PTA本部役員のみなさん、養護教諭です。短い時間でしたが、学校医の先生方から、様々なお話を聞いて、とても有意義な会となりました。その内容について報告します。

□内科医 外山先生より

- ・(本校の児童の朝ごはんの欠食が目立つという話をうけて)
朝ごはんに関しては、母親が早起きし、母親自身が朝食をしっかりと食べること。子どもの見本となる生活態度をとることが大切。
- ・インフルエンザについて
妊娠中でもタミフル等、積極的に使用したほうが良いということになった。
朝1回の使用で良い吸入式の新薬が、これから出る予定
タミフルを飲んだことによる異常行動の発生率は11%、飲まなかったことによる異常行動の発生率は13%という結果がでている。

□耳鼻科医 穂山先生より

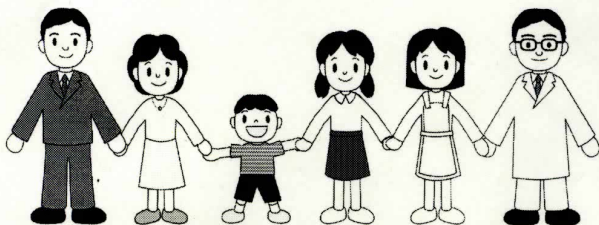
スギ花粉、来年は今年の5倍と予想されている。しかし今年が少なかったため、例年より少ないと思われる。バランスの悪い食事や睡眠不足など、生活習慣が乱れていると自律神経が乱れ、花粉症などのアレルギーの症状が強くなる。生活が不規則にならないよう気をつけてほしい。

□歯科医 池田先生より

- ・歯みがきは習慣が大切。
- ・歯みがきは、特に夜がんばってみがく。むし歯菌は、口の中がかわく寝ているときに繁殖する。
- ・乳歯のむし歯を治療しないと、根っこにうみがたまった状態でそこから永久歯が生えてくることになり、永久歯の変色などを引き起こす。乳歯であっても、むし歯が見つかったら、早めに治療してほしい。

□薬剤師 明石先生

- ・学校の水道が受水槽式でなく、直結式になった。
- ・薬局に、保護者の付き添いがなく、子ども本人だけで来ることがある。吸入式の薬が処方されたときなど、子どもでは理解するのが難しい。薬局にもできるだけ保護者が一緒に来てもらいたい。
- ・低学年からのたばこの指導を今年度から、学校薬剤師が協力して行っていく。



薬についての指導のご協力をお願い

本校が所属する小学校教育研究学校保健部6ブロックでは、薬に関する指導を研究テーマに今年度と来年度行うこととなりました。それにとまって本校3年生と6年生の児童と保護者の方にアンケートをこれからお願いする予定です。

ご面倒かとは思いますが、ぜひともご協力をお願いします。

